

交流施設やタウンモビリティ、イベント実施により、障がい者や高齢者を含め誰もが利用しやすい商店街を目指す。

## NPO 法人大牟田市障害者連絡協議会

(新栄町商店街振興組合)

機関名	NPO 法人大牟田市障害者連絡協議会 (新栄町商店街振興組合)		
所在地	福岡県大牟田市新栄町 19 番 9		
電話番号	0 9 4 4 - 5 3 - 4 5 3 8		
地域概要	(1)管内人口 134 千人	(2)管内商店街数 25 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1	(2)会員数 66 商店	
	(3)空店舗率 26.7%	(4)大型店空き店舗数 3	
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成 16 年度 コミュニティ施設活用事業 (高齢者等交流施設)

- ・障がい者および高齢者等の交流施設整備事業
- ・商店街利用者サービス提供事業
- ・イベント事業

総事業費 2,819 千円

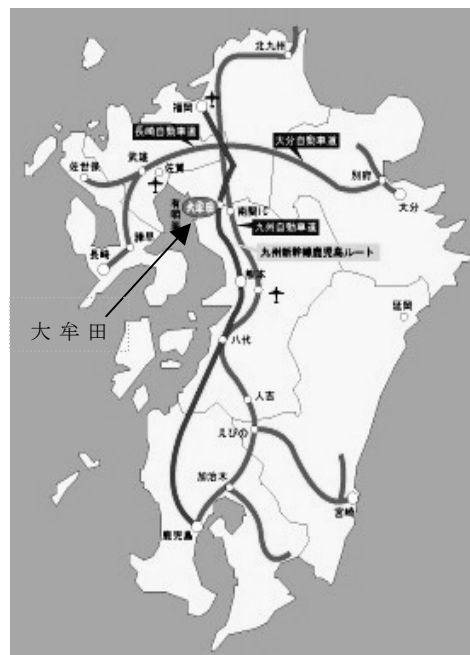
### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

福岡県大牟田市は、福岡市から電車でおおよそ 50 分の距離に位置し、三池炭鉱 (平成 9 年閉山) 等の炭鉱産業を中心とした鉱工業都市として栄えてきた。しかしながら近年、産業構造の変化による人口減少や、65 歳以上の高齢者率の増加が著しく、地元商業に与える影響も大きい。

商店街の空き店舗率は年々増加している。中心商店街である駅前の新栄町商店街の平成 15 年の空き店舗率は 26.7% と高く、核となっていた大型店も軒並み閉店したことから、売り場面積はピーク時の半分以上になり集客力は著しく低下している。

同市では賑わいを取り戻すため、住みやすく買い物しやすいやさしい街づくりを目指し、商店街に多様な人たちを受け入れ交流の場としての体制を整えることとなった。平成 15 年度に、市内 25 の障がい者関連団体が参加する NPO 法人大牟田市障害者協議会が、新栄町商店街内に



大牟田市の位置  
(大牟田商工会議所の HP より)

ある空き店舗を活用して「街かど福祉・人の駅 ほっとかん」を開設し、高齢者や障がい者の交流の拠点として商店街と連携を図りながら各種事業に取り組んだ。

2年目に当たる平成16年度は、障がい者や高齢者等の様々な人を受け入れる姿勢がハード面だけでなく、心のバリアフリーとして自然に受け入れる形へとつながるようイベントや施設の利用促進への取り組みを行った。

## 2. 事業内容

事業内容としては、交流施設「ほっとかん」を拠点として、平成15年度実施した3事業を引き続き実施し、更なる利用促進、サービス向上を図った。

### (1) 高齢者等交流事業

#### ①無料休憩所・交流スペース・多目的トイレの活用

平成15年度には多くの人々が来街しやすい環境づくりを行った。今年度は商店街の会議や福祉団体等の交流会など幅広い利用があった。また、施設のPRを積極的に行い、利用促進に努めた。

##### 【利用実績】

平成15年度（10月～翌3月）1,199人

平成16年度（4月～翌3月）7,249人

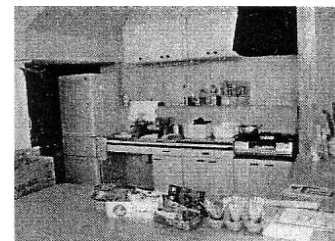
#### ②だれでもキッチン

平成15年度には障がい者等が材料を持ち寄り自由に利用できる「だれでもキッチン」を設置した。今年度は商店街のおかみさん会やサークル団体等の利用もあり、利用者の幅が広がった。

##### 【利用実績】

平成15年度（10月～翌3月）220人

平成16年度（4月～翌3月）341人



### (2) 商店街利用者サービス提供事業

#### ①タウンモビリティ

平成15年度に続き、障がい者や高齢者が気軽に商店街で買い物ができるよう車椅子と電動カートの無料貸し出しを実施した。

##### 【利用実績】20人

平成15年度（10月～翌3月）17人

平成16年度（4月～翌3月）20人



#### ②商店街の情報提供

ホームページやチラシ等によるPRを継続して行ったほか、今年度は、いきいきふ

れ愛祭や節分祭等のイベントを、商店街と障害者協議会が共同で実施し、商店街 PR を行った。

### ③福祉情報の発信と相談

ホームページやチラシ等による福祉に関する情報提供を継続して行った。また今年度は、障がい者ケアマネジメント従事者、ピアカウンセラー、障がい者相談員による福祉に関する相談業務も実施した。

#### 【利用実績】 33 人

平成 15 年度（10 月～翌 3 月） 17 人

平成 16 年度（4 月～翌 3 月） 33 人

## （3） イベント

福祉関連団体や行政、商工会議所とタイアップして各種イベントを実施した。イベントには幼稚園児等の参加もあり、おおいに喜ばれた。

### ①映画上映会

商店街にレトロな雰囲気をつくりだし、「1 番街レトロ名画座」と銘打った映画上映会を実施した。

### ②いきいきふれ愛祭

大牟田市障害者協議会と新栄町商店街ではカラオケ大会を行った。来街した障がい者や健常者の参加があり、商店街は多くの人で賑わった。

### ③豆まき・節分祭

大牟田市、商工会議所、地元幼稚園児の参加があり多くの人で賑わった。また、豆まき終了後には参加した幼稚園児を対象に、紙芝居の上映や世界の玩具体験を行い、おおいに喜ばれた。



### ④街ボランティア登録講習会

大牟田市障害者協議会をはじめとする 3 つの NPO が主催し、商店街が協力して、移動に困難を有する市民への外出介助に必要な知識と技術を学ぶことにより、障がい者の来街を受け入れる体制づくりを行なうことを目的に、講習会を実施した。

## 【 効 果 】

### 1.商店街の認知度

障がい者等交流施設を拠点として積極的にイベントを実施し、特に親子を対象としたイベントが多かったことから、マスコミの非常に大きく取り上げられ、商店街の認知度が上がった。

### 2.来街者の行動

これまで来街していなかった人達が、本事業をきっかけとして商店街に多く訪れ、交流し、街への関わりを持つようになった。

### 3. その他

本事業は2年目となるが、今年度は障がい者や高齢者だけでなく商店街の人達や地域住民が誰でも利用できる仕組みができ幅が広がった。

#### 【課題・反省点】

##### 1. 事業の合意形成

商店街組合員のコミュニティ事業に対する理解を深めることと、NPO団体との合意形成が課題である。

##### 2. 自宅から施設までの交通手段の確保

タウンモビリティに関しては、障がい者や高齢者が気軽に商店街を利用できるようなサービスであるが、自宅から施設までの交通手段の確保が課題であり、今後協議を行う必要がある。

#### 【事業の実施ポイント】

事業実施に当たっては、商店街振興組合の組合員にコミュニティ事業の必要性を、十分に認識させる必要がある。

また、協同する商店街とNPOとが連携を図りつつも、商店街が主体性を持っていないと、事業の趣旨に沿わない方向へ進んでしまう恐れがある。

#### 【関連URL】

大牟田市新栄町商店街 <http://www.city.omuta.fukuoka.jp/machi/01/09/index.html>